

市・町教育委員会事務局
社会教育・生涯学習担当課長 様

金沢大学社会教育研究振興会
会 長 前 哲 雄

令和7年度「金沢大学 市・町共催公開講座」の実施について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より、当会の事業にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。
さて、標記の公開講座につきましては、皆様との連携のもと、本年度も下記のとおり実施いたします。
県内各地において開催されることにより、県民の生涯学習が推進されるようご協力願います。

記

1 事業の概要

県又は市・町若しくは個々の公民館等で企画する学級や講座の講師として、
金沢大学等の教員等を派遣（講師の謝金及び旅費は、当会が負担）

2 開催手続

別添「実施要領」のとおり

3 参考情報

テーマや講師を考えるにあたっては、以下をご利用ください。

(1) 「（金沢大学）研究者情報」ホームページ

URL：<https://ridb.kanazawa-u.ac.jp/public/index.php>

※検索対象を「すべて」とし、氏名や研究分野、キーワードを入力すると比較的新しい情報を得ることができます。

(2) 「金沢大学公開講座」ホームページ

URL：<https://kanazawauniv.sa-advance.com/>

※掲載された公開講座やイベントの情報をご活用ください。

(3) 別紙「金沢大学市町・共催公開講座 分野別講演一覧」

過去に開催された標記講座など、事務局がピックアップしたものを、テーマ別に掲載しております。

（事 務 局）

〒920-8575 石川県金沢市鞍月 1 - 1
石川県教育委員会事務局生涯学習課
社会教育・心の教育グループ（担当：小網）
TEL：076-225-1836 FAX：076-225-1838

金沢大学 市・町共催公開講座 実施要領

1 趣旨

県又は市・町若しくは個々の公民館等で企画する学級や講座の講師として金沢大学等から教員を派遣し、その謝金及び旅費を金沢大学社会教育研究振興会が負担することにより、県内各市・町における生涯学習が推進されることを目的とします。

2 実施形態

一定のテーマのもとで複数回実施しても構いませんし、毎回個別のテーマを設定して実施していただいても構いません。

3 手続き

- ①講座や講師の案を、まず事務局に報告し、確認してください。
- ②日程や具体的な内容は、講師と直接連絡をとり決定してください（ホームページに掲載されておらず、大学に問い合わせても不明な場合は、事務局まで相談してください。）
- ③講座開催が決定した後、講師の方に預金口座振込依頼書（別紙様式2）の提出を依頼してください。
- ④また、実施計画書（別紙様式1）に必要事項をご記入の上、事務局まで提出してください。
- ⑤公開講座の実施後、実施報告書（別紙様式1）に参加者数等ご記入の上、講師から提出を受けた預金口座振込依頼書（別紙様式2）と併せて事務局まで提出してください。
- ⑥後日、振興会から講師の方に報酬・旅費等お支払いいたします。

4 その他注意事項

- (1) 講座名には、必ず「金沢大学 市・町共催公開講座」と付してください。
- (2) 講座に関する案内・要項及び資料等には、必ず「金沢大学社会教育研究振興会」を共催者として明示してください。

<連絡先>

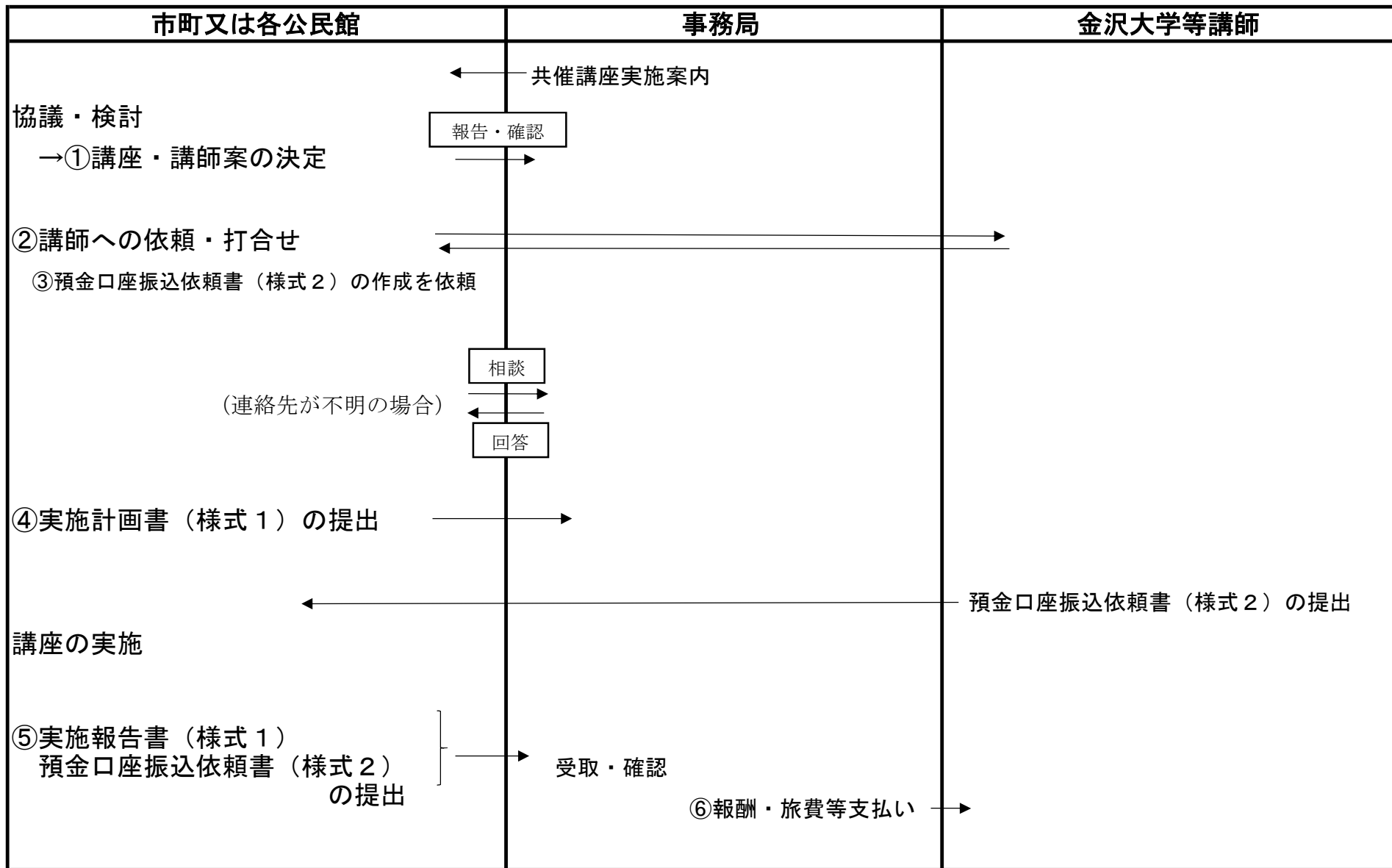
金沢大学社会教育研究振興会事務局

（石川県教育委員会事務局生涯学習課 社会教育・心の教育グループ内）

住 所：石川県金沢市鞍月1丁目1番地

T E L：076-225-1836 F A X：076-225-1838

〈金沢大学・市・町共催講座フローチャート〉



※計画書・報告書は、各市町教育委員会を通して事務局にご提出ください。

(別紙様式1)

令和 年 月 日

金沢大学社会教育研究振興会長 殿

_____教育委員会
(_____) 公民館

金沢大学 市・町共催公開講座 実施計画書・報告書

このことについて、以下のとおり (計画 ・ 実施) しましたのでお知らせします。

●講義題目，実施日時，開催場所，担当講師名等

統一テーマ _____ (統一のテーマ・講座名があればご記入ください。)

	講義題目	実施日時	開催場所	担当講師 (所属・氏名)	講師住所*	内諾の有無	参加者数
例	〇〇〇〇〇	R2年〇月〇〇日 (水) 10:00~12:00	〇〇公民館	金沢大学・〇〇 〇〇〇〇		内諾済み	名
1							名
2							名
3							名

5 連絡先

担当者所属課 (館) _____ 担当者氏名 _____
(Tel: _____) (Fax: _____)

※講師の方の旅費を算定するため、講師住所につきましては必ずご記入ください。

(別紙様式2)

預金口座振込依頼書 (振興会)

令和 年 月 日

金沢大学社会教育研究振興会 殿

住 所 _____

フリガナ
氏 名 _____

電話番号 _____

私に対する支払は、下記の金融機関の預金口座へ振込してください。

1 口座名義 *カタカナで左詰めに記入してください

2 振込先金融機関名

金融機関名		店名
1 北陸銀行	4 三井住友銀行	本 店 支 店 出張所
2 北國銀行	5 金沢信用金庫	
3 三菱東京UFJ銀行	6 その他	
()		

3 預金種別

普通 ・ 当座

4 口座番号 (左詰めに記入してください)

--	--	--	--	--	--	--

金沢大学市町・共催公開講座 分野別講演一覧

◎当振興会において過去に開催された講演会の一覧です。どんなテーマがあるのか、考えてみる際の参考にしてください。

なお、開講できるものはここに記載されたテーマのものに限られるわけではありません。

※講師の方の所属や職名は講座開催時のものです。また、★の記載されたものは、当振興会の事業として開催されたものではなく、「金沢大学公開講座」から過去のものも含めて例として掲載させていただいたものです。

※ここに記載されたものが必ず開講できるわけではありません。実際の開講にあたっては、講師の方に直接ご相談いただく必要があります。

医療・健康

	演題	所属		講師	
1	認知症におけるサラダ油の危険性	有松医科歯科クリニック	CEO	山嶋 哲盛	H29
2	運動心理学の視点から効果的な運動学習・指導を考える	国際基幹教育院GS教育系	准教授	村山 孝之	H29
3	生活リズムと健康	人間社会研究域人間科学系	教授	岩田 英樹	H30
4	ここまでわかった認知症と看護	医薬保健研究域保健学系	准教授	谷口 好美	H30
5	発達に応じた運動指導	医薬保健研究域保健学系	教授	染矢 富士子	H30
6	「食品による認知症発症リスクの低減」	医薬保健学総合研究科	特任准教授	篠原 もえ子	R4
7	「生活リズムと健康」	人間社会研究域人間科学系	教授	岩田 英樹	R4
8	「身近な薬草の利用：漢方の知識を普段の生活に取り入れよう」	医薬保健研究域 薬学系 医薬保健研究域薬学系	教授	佐々木 陽平	R6
9	健康に役立つ糖尿病療養の知識と技術ー「あしの健康」を保つー		名誉教授	稲垣 美智子	★
10	もっと知りたい！漢方医学シリーズ～きみも漢方医になってみよう！～	附属病院	臨床教授	小川 恵子	★
11	がん医療の最前線	がん進展制御研究所	所長	平尾 敦	★
12	心臓病になりにくい生活にするには？	附属病院リハビリテーション部	臨床教授	出口 清喜	★
13	骨粗鬆症 あなたの骨は健康ですか？	薬学系教授	臨床教授	新井 國三	★

社会・経済・歴史

	演題	所属		講師	
1	加賀能登から日本海とアジアの環境を見る		特任教授	早川 和一	H30
2	加賀藩領の村々と十村	人間社会研究域言語文化学系	准教授	上田 長生	H30
3	男も女もいきいきのびのびできる社会へ	人間社会研究域学校教育系	教授	綿引 伴子	R1
4	住みやすい住居や環境 (ののいちコミュニティカレッジ)	人間社会研究域	理事	山岸 雅子	R1
5	「環境問題だけじゃないSDGsの話」	ほくりくみらい基金準備委員会		永井 三岐子	R4
6	「アンコール世界遺産～文化財と自然、そして地域社会～」	人間社会研究域	教授	塚脇 真二	R5
7	城と歴史を活かしたまちづくりー①金沢城ー	人間社会研究域人間科学系	教授	伊藤 悟	★
8	歴史の中の天皇ー江戸時代の天皇と幕府ー	人間社会研究域言語文化学系	准教授	上田 長生	★
9	石川はなぜ酒が旨いのか？	人間社会研究域人間科学系	准教授	青木 賢人	★
10	多様な性の在り方ー人権の視点から考えるー	国際基幹教育院GS教育系	准教授	谷口 洋幸	★
11	「地域」をキーワードに学ぶ応用経済学	人間社会研究域経済学経営学系	教授	藤澤美恵子	★

芸術・文化

	演題	所属	講師		
1	魚食から見た北陸 (ののいちコミュニティカレッジ)	人間社会研究域	准教授	林 紀代実	R3
2	古文書講座	人間社会研究域 歴史言語文化学系	准教授	上田 長生	★
3	冠婚葬祭 ー儀礼から見る世界の文化ー	国際基幹教育院	准教授	趙 菁	★
4	フレスコ壁画の制作	人間社会研究域 学校教育系	教授	大村 雅章	★

自然・科学

	演題	所属	講師		
1	これからの里山と里川 ～そのあり方を探る		客員教授	川島 平一	H29
2	白峰の里山から考える地域の可能性	人間社会研究域 経済学系	教授	市原 あかね	H29
3	かほく市の自然災害	人間社会研究域 人間科学系	准教授	青木 賢人	H30
4	公害による災害について	人間社会研究域 学校教育系	教授	土井 妙子	H30
5	隕石トリヴィア	環日本海域 環境研究センター	准教授	井上 睦夫	H30
6	黄砂に含まれる大気微生物 そらなっとう	理工研究域	准教授	牧 輝弥	R1
7	5Gの未来	KDDI(株) 北陸総支社	管理部	細川 一人	R1
8	「白山は近い将来噴火するか」	理工研究域地球社会 基盤学系	教授	海野 進	R4
9	白山市の石を知る①	理工研究域	教授	森下 知晃	R6
10	「昆虫の話～思いもよらない不思議な生態～」	理工研究域 生命理 工学系	教授	木矢 剛智	R6
11	昆虫の不思議	理工研究域 生命理工学系	准教授	木谷 剛智	★
12	とけないアイスクリームの開発		名誉教授	太田 富久	★

地域・教育

	演題	所属	講師		
1	地域における公民館の役割と公民館職員		名誉教授	浅野 秀重	H29
2	攻めの地域づくりをどう進めるか		名誉教授	浅野 秀重	H29
3	方言再発見ーその魅力と謎にせまる	人間社会研究域 国際系	教授	加藤 和夫	H30
4	観光から学ぶ！地域の魅力	人間社会研究域	助教	丸谷 耕太	R1
5	地域の取り組みが世界を変える ～住みよい羽咋を持続するためのSDGs活用法～	金城大学	非常勤講師	今井 和愛	R1
6	路傍の地蔵像ー石川県の事例を中心に (ののいちコミュニティカレッジ)	人間社会研究域 人間科学系	教授	清水 邦彦	R2
7	公民館活動を通じた新しい自分づくり		名誉教授	浅野 秀重	R2
8	地域資源の再評価と活用 (ののいちコミュニティカレッジ)	人間社会環境研究科	准教授	川澄 厚志	R3
9	今後の公民館等のコミュニティ施設に期待されるもの		名誉教授	浅野 秀重	R3
10	継続した地域安全マップづくりを振り返り今後の方策を考える	北陸大学 経済経営 学部	教授	山本 啓一	R3
11	「コミュニティ・スクールの導入について」		名誉教授	浅野 秀重	R4
12	「地域福祉活動のあり方」	融合研究域 融合科学系	教授	眞鍋 知子	R4
13	「私たちの考える新神田のまちづくり」		名誉教授	浅野 秀重	R4
14	「これからの社会を考える～進む情報化と無縁社会」	人間社会研究域 地域創造学系	教授	田邊 浩	R5
15	「お隣どうして言葉が違う？～方言の謎と魅力～」		名誉教授	加藤 和夫	R6

防災

	演題	所属	講師		
1	地震による災害について	人間社会研究域 人間科学系	准教授	青木 賢人	H30
2	火山活動による災害について	人間社会研究域 学校教育系	教授	酒寄 敦史	H30
3	地区防災 ～地震に備える～	人間社会研究域 人間科学系	准教授	青木 賢人	R1
4	知って備える動橋の災害 ～ハザードマップを見て想像しよう～	人間社会研究域 人間科学系	准教授	青木 賢人	R1
5	防災・減災 ～風水害に備える～	人間社会研究域 人間科学系	准教授	青木 賢人	R2
6	大人の防災講座	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R3
7	「町民大学 地域生活講座 地震と防災 ～最近の地震から考える～」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R4
8	「地域防災力と人づくりを考える」 (菊川町公民館「防災すごろく」)		名誉教授	浅野 秀重	R4・5
9	「水害から身をまもる」 (菊川町公民館「防災すごろく」)	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R4
10	「避難所開設で気を付けること」	日本赤十字石川支社	防災ボランティア 救急法指導員	北村 裕一	R4・5
11	「震災から学ぶ地域住民の つながり の大切さ」	金沢大学	名誉教授	浅野 秀重	R5
12	「防災とジオ～出城地区で心配な自然災害を調べてみよう～」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R5
13	「地震による災害について」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R5
14	「想定・金沢地震～知って・備えて・乗り切ろう～」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R5
15	「地震と防災～最近の地震から考える～」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R5
16	「白尾区で想定される災害について」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R5
17	「砂丘地における地震時想定される災害」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R5
18	「地震では命に係わる被害が生じます。野々市の地震の想定を学んで備えましょう。」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R6
19	親子で防災だいさくせん		名誉教授	浅野 秀重	R6
20	「令和6年能登半島地震を体験して」	日本赤十字石川支社	防災ボランティア 救急法指導員	北村 裕一	R6
21	「能登半島地震・何が起きたのか～防災・減災に生かす～」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R6
22	「個人で備える防災」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R6
23	「令和6年能登半島地震発生のメカニズムと今後について」	理工研究域 地球社会基盤学系	教授	平松 良浩	R6
24	「災害を乗り越える地域コミュニティの力～これからの社会を考える～」	人間社会研究域 地域創造学系	教授	田邊 浩	R6
25	「地震の備えと発災の際の避難所開設」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R6
26	「能登半島地震の災害から学ぶ 長土塀の地震と水害を考えよう」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R6
27	「笠島区で想定される災害について」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R6
28	「動橋地区における災害規模と対策」	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R6
29	三馬校下に特化した地震・水害リスクを知り避難・備えのあり方を考える	人間社会研究域	准教授	青木 賢人	R6
30	ハザードマップとフィールドワークで金沢の自然災害を学ぶ	人間社会研究域 人間科学系	准教授	青木 賢人	★
31	親子で学ぼう！金沢の自然災害	人間社会研究域 人間科学系	准教授	青木 賢人	★

スキルアップ

	演題	所属	講師		
1	SNSとマスメディア、これからの広報戦略 (ののいちコミュニティカレッジ)	先端科学 ・社会共創推進機構	特任教授	宇野 文夫	R1
2	中学・高校生からわかる地理学	人間社会研究域 学校教育系	准教授	吉田 国光	★
3	高校生から分かる法学・政治学の諸問題	人間社会研究域 法学系	教授	稲角 光恵	★
4	子ども用コンピューター「micro:bit」でプログラミングを体験しよう！	理工研究域 電子情報通信学系	准教授	丸山 武男	★
5	「M5Stack」でプログラミングを始めよう！	理工研究域 電子情報通信学系	准教授	丸山 武男	★

親子で楽しむ

	演題	所属	講師		
1	小説に見る 親の学び 子の学び		名誉教授	浅野 秀重	H30
2	葉草染め体験 in薬用植物園 1	医療保健研究域 薬学系	教授	佐々木 陽平	★
3	葉草染め体験 in薬用植物園 2	医療保健研究域 薬学系	助教	安藤 広和	★
4	「ふたご」が出てくる絵本	人間社会研究域 歴史言語文化系	教授	志村 恵	★